

大手前だより

母校創立百二十周年式典・祝賀会

金蘭会ホームページ「WEB金蘭会」
(http://kinran.jp)

■母校百二十周年式典・祝賀会	1	■母校便り	4	■金蘭会組織	8
■会長ご挨拶	2	■会務報告書	5	■新理事・評議員	10
■前校長退任のご挨拶	2	■会費・賛助金納入のお願い	5	■高委員会より	11
■新校長着任のご挨拶	3	■予算・決算報告書	6	■学年会だより	12
■名簿委員会より	3	■アンコールオレンジツアー	7	■支部この1年	14
■国際グリン賞	3	■金蘭会ホールご案内	8	■会員からのお便り	16

十一月二日(木)

母校創立百二十周年記念式典・祝賀会

母校大手前高校は、今年度創立百二十周年を迎えます。前回の百十周年同様、学校・PTA・金蘭会が一体となつて取り組みます。

祝賀会は金蘭会が中心

【実行委員会】

金蘭会・PTA・母校教職員で構成。委員長には升谷会長が就任。

【記念式典・祝賀会・記念事業】

平成十八年十一月二日(木)

■記念式典 大阪国際会議場

(グランキューブ大阪)

午後二時～午後四時四十分

I部式典 II部記念演奏会

■祝賀会 リーガロイヤルホテル

(大阪国際会議場隣り)

午後六時～八時 二階「山楽の間」

※午後五時～六時 お茶席有り

■記念事業

■記念誌発行

■記念品(文鎮)作成

■金蘭会より贈呈

■空調設備(視聴覚教室・別館二階自習室)

◇お願い

金蘭会では、この百二十周年記念事業が成功するよう、万全を尽くして努力する覚悟をしております。その趣旨

をご理解の上、会員の皆様方のご協力をぜひお願いする次第です。

特に祝賀会は、金蘭会中心で運営いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。共に百二十周年を祝いましょう。

・出席を希望される方は同封の振込用紙でお願い致します。会費一万円(記念誌・記念品代込み)。御入金で出席と確認させていただきます。祝賀会に参加予定で式典にも参加される方は、振込用紙の所定の欄に○印をお付けください。多数のお申し込みをお待ちしています。

別途記念誌と記念品をお申し込みの方は、二千元お振り込みください。なお式典のみ参加ご希望の方は、金蘭会宛、FAXをお願い致します。いずれも八月十五日締切です。

車椅子ご利用ご希望の方は、お申し出ください。ご用意できます。



周辺アクセス

- JR「大塚駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津横行)または(55系統 朝町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2番出口)から徒歩約10分
- 阪神電車「福島駅」から徒歩約10分
- 大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約10分
- シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」と各ターミナル(JR「大塚駅」中央北口、地下鉄「京阪」堂島橋)の間で運行しており、ご利用いただけます(但し定員28名)

大阪国際会議場TEL(06)4803-5555/リーガロイヤルホテルTEL(06)6448-1121

会長のご挨拶



会長 谷 博
会 長 升 博

(S27卒)

金蘭会会員の皆様、その後益々お元気に全国各地で多方面に亘って、ご活躍されておられる様子を承り、何よりの事とお喜び申し上げます。

私は、本年四月に開催されました理事会並びに評議員会において、引き続き会長に推挙さ

退任のご挨拶



前校長 徳 永 博 正

因らずも、私、この四月、府立大手前高等学校長の職から府立高津高等学校長に転出致しました。百二十年に亘んとする伝統のある、そしてその上に新たな取組みを精力的に進めてきた本校に三年間勤めることが出来たことを、得難い経験と

れました。三期会長職を務めることは、長期間に亘りすぎるとのご批判もあろうかと存じますが、母校創立百二十年を迎えることもあり、事業を円滑に取り進められるようこの大役を引き受けることといたしました。一段と気持ちを新たに努めて参る所存です。

本年創立百二十年を迎える母校は、徳永校長先生が急に転出されたものの、後任に、齋藤良昭先生が新校長として着任され、メモリアルな年を迎えて、校内は、一段と活性化しております。

昨年末より、母校・P.T.A.同窓会が、体となって、百二十年記念事業委員会が発足。記念式典・祝賀会は来る十一月二日(木)に開催する旨決定しております。会員の皆様のご支援、ご協力により盛大に盛り上げたいと存じますので宜

しくお願い申し上げます。また記念事業を実行するに当たって、会員の方々の従前よりのご厚志を活用させていただけることを、改めて厚くお礼申し上げます。

本年は、会員名簿の刊行の年に当たります。理事会で十分検討し、刊行に踏み切ることに決定いたしました。当会の個人情報保護法への対応の考えに沿って取り進めますので、ご理解ご協力をお願いします。

昨年で第十回を迎えた国際クリム賞の継続については、理事会で十分審議し、本賞が国際的に権威のある児童文学賞であり、併せて大阪府教育委員会よりの強い要望もあり、十五回迄継続することに決定いたしました。

平成八年より始めた金蘭会セミナーは、本年七月二十一日で、記念すべき第百回を迎えます。

難かつたと存じます。

さて、学校を取り巻く環境はご承知のとおり厳しいものがあり、大手前高校として例外ではありません。来年度からの学区改編に向けて準備も二層本格的に行われつつあることかと存じますが、ともかく、公立私立を問わず、それぞれの学校が特色を明快に打ち出していかなければならない状況です。ただその際、各学校は、生徒・保護者の願いに応えるよう努力することはもとより大切ですが、それをも含む学校としての社会的な役割を、歴史の中に自らを置いて大きくきつちりと捉え、各々教育活動の質を高めていくことを忘れてはならないと思います。

大手前高校には、リーダー育成という使

十年に亘りお世話された方々のご努力とこれを支えていただいた会員の協力に、改めて感謝申し上げます。

五月十二日からの四泊五日のアンコールレングッズも無事終わり、世代を超えた親睦をより深めることが出来ました。

来年度から通学区域が改編される母校の発展へは惜しめない支援を送って参りたいと存じます。

何はともあれ当会の発展は、会員皆様方のご理解ご協力なくしてはあり得ない訳です。向こう三年間、新しく選ばれた役員二回力を合わせてその任に当たりますので、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

命があります。そのため、ここ二、三十年、教育の場から後ろに退けられてきた感のある「鍛錬」という働きの持つ深い尊厳を噛み締める必要があるのではないのでしょうか。創立百二十年という記念すべき年を迎えたのを機に、齋藤新校長の下、金蘭会の皆様のお知恵、お力添えを得つつ、大阪府立高等学校の代表として、将来の我が国を担うたくましい人材を育てるといふ重大な責務を、着実に果たしていきたいと思いますよう念願しております。

最後になりましたが、金蘭会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とを祈念しまして、御礼の言葉と致します。

母校創立120周年記念名簿の発行

金蘭会は5年毎に会員名簿を発行しており、本年は母校創立120周年にも当り、発行の年となっております。個人情報保護法施行後の発行ということで、是非をめぐって2度に亘って理事会で論議されましたが、会報や名簿はやはり同窓会の大きな柱であるとの結論に達し、発行の運びとなりました。しかし、やはり掲載を希望されない方もあるかと思いますので、今回は会員の皆様の意思を確認の上、作業に入る事に致しました。掲載を希望されない方は同封の葉書④にご記入の上、8月15日までにお送り下さい。期日を過ぎますとご希望に添いかねますのでその点ご了承下さい。現在の貴方のデータは、振込用紙の下部にプリントされますので、ご確認の上、変更がある場合は8月15日までに同封の葉書④にご記入の上お送り下さい。なお新名簿のご購入の予約は振込用紙に忘れずにご記入の上ご送金下さい。発行は11月中旬の予定です。

予約価 1冊 5,000円 (送料共)

予約以外 1冊 5,500円 (送料共)

〔名簿に広告を掲載して下さい〕

名簿発行に当たっては、いつも会員各位並びに関連各社のご好意で広告を掲載していただいておりますが、今回も何卒ご協力を宜しくお願い致します。前回ご掲載の方には別途お願いの文書を送らせていただきますが、新規ご掲載のお申し出はお手数ですが振込用紙上の広告希望の欄にご記入下さい。折り返し要項を送らせていただきます。(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

第10回 国際グリム賞

爽秋の二〇〇五年十二月十三日(日)、第十回国際グリム賞の授賞式が、受賞者のマリヤ・ニコラエヴァ博士を迎え、大阪府立国際児童文学館ホールにて開催されました。

当日は、日本・イギリス児童文学学会の研究会の開催もあり、百五十名を超える出席者の中で、升谷博会長から正賞並びに副賞の賞金が手渡されました。今回受賞されましたニコラエヴァ博士(ストックホルム大学教授)は、比較児童文学の優れた研究者であり、児童文学史、ファンタジー、絵本論など注目すべき著書を多数発表されており、また、国際児童文学学会では、会長として会の発展に多大なる貢献をなされています。長年の研究のひととして、「長くつ下のピッピ」の作者リンドクレーンや「ムーミン」シロ



の作者トーベ・ヤンソンの研究などもあります。贈呈式に引き続き、記念講演会が開催され、「児童文学における『力』」誰のために「何のために」をテーマに、児童文学が独立した研究分野になって以来、児童文学を芸術作品と考えるべきか、教育のための作品と考えるべきかは、いつも論議されており、こうした状況は芸術と教育の乖離と言われていることなどが紹介されました。(詳細は「WEB金蘭会」をご参照ください。)

マリヤ・ニコラエヴァ博士(スウェーデン)が受賞

【国際グリム賞は、一九八七年大手前高校創立百周年記念の寄付金を基金として創設されたもので、児童文学研究で世界的な功績のあった研究者に贈られる賞】

(国際グリム賞担当理事 S30卒 多田 嘉孝)

着任のご挨拶



校長 齋藤 良昭

金蘭会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。今春、徳永校長先生が府立高津高等学校へご転勤となられ、校長の大任を仰せつかることになりました。私はこれまで教育委員会の高校改革課において、府民の期待、

生徒・保護者のニーズに応える新高校づくりの仕事をして参りましたが、その中で、保護者や卒業生の皆さんの学校に対する熱い思いを実感することが何度もありました。長い歴史と伝統を持つ大手前高校の同窓生の皆様が母校に寄せられる思いの深さは、様々な場面で目の当たりにしているところであり、よき学園に着任させていただいたの思いとともに、責任の重さ、身の震える思いであります。

本校は府教育委員会から「次代をリードする人材育成研究開発重点校(グローバルスクール)」の指定を受け、「知・徳・体」のバランスのとれた人材の育成、つまり確かな学力をつけることに留まらず、高い理想をもち国際社会に貢献できる人材を育てる

ことに力を注いでおりますが、本校の特色となつている「集中セミナー」やウェルズの本ケラリス校との交流は、特に金蘭会のご厚情により実現したものであり、心より御礼申し上げます。

さて、今年度末の入学選抜より学区が改編され、現在の三学区と四学区は統合されて新二学区となります。一九七〇年代から約三十年間続いた九学区制が、それ以前の五学区制に近いかたちに戻ろうとしております。今回の学区改編で公立高校間の評価が変わろうとしていますが、この改革において生徒と保護者の学校選択の幅を拡大したのは、自由な高校選択によつて生徒の進学への意欲を高め、自分にあつた高校選抜を可能にするためであり

ます。高校はこれまで以上に自らの教育理念と目標を明らかにし、教育活動の実態を自ら評価し公表していかねければなりません。こういう競い合いのなかで、府立高校がさらに発展していくための改革としていかなければならないと考えております。

大手前高校の教育が意欲ある中学生から積極的に支持され、志望されるよう、教職員一同、これまで取り組んできた教育活動を一層充実させてまいります。かつ今年度は創立百二十周年という節目を迎えます。この一年が大手前高校にとつて、伝統を踏まえ飛躍の年となりますよう、金蘭会会員の皆様の母校に対するいっそうのご支援ご協力をお願い申し上げます。着任のご挨拶とさせていただきます。

母校便り

◆本年度の人事異動(順不同)

〔退職された方〕

木下 通宏 先生(数学)
大阪教育大学教育学部付属平野校舎へ

中山 寛二 先生(理科)
府立牧野高校へ

辻 元生 幸 事務部長

〔転勤された方〕

徳 永博 正 校長

中村 順子 先生(国語)
府立高津高校へ

半井 庸子 先生(理科)
府立枚方なぎさ高校へ

主任指導主事として大阪府教育センター理科第室へ

毛利 典子 主事

飯塚 真知子 技師
府立阿倍野高校へ

齋藤 良昭 校長
大阪府教育委員会高校改革課より

垣内 健太郎 先生(国語)
新任

網谷 勝俊 先生(数学)
府立茨田高校より

文田 憲行 先生(理科)
福岡県立脩猷館高校より

長谷川 恵 先生(理科)
府立箕面東高校より

酒井 徹 事務部長
府立天王寺高校より

山崎 弘志 技師
府立成城工業高校より

◆平成十八年度大学合格状況

京都大学	25名
大阪大学	41名
神戸大学	28名
大阪市立大学	15名
大阪府立大学	22名
大阪教育大学	13名
関西学院大学	144名
関西大学	212名
同志社大学	126名
立命館大学	168名
慶応大学	2名
早稲田大学	5名

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成十八年一月二十一日

榑原 敏房 先生

学校見学について

平成十八年六月二十四日(土)に普通科体験授業を実施しましたが、今後の学校見学および説明会等に関しては本校のHPをご覧ください。
HP <http://www.osaka-c.ed.jp/otemae/>

平成17年度 高校総体(インターハイ)、近畿大会出場選手

【水泳部】

逢坂 敏裕 (3年) 男子100m平泳ぎ 高校総体(千葉県) 出場
増山 貴之 (1年) 男子高飛込 高校総体(千葉県) 出場

【陸上部】

桑野 有加 (1年) 女子走高跳 近畿大会(滋賀県) 出場
松田 烈士 (1年) 男子走幅跳 近畿大会(滋賀県) 出場

※学年は昨年当時のもの

「理数科体験入学」のお知らせ

日 時 平成十八年十月二十二日(土)

午後二時から五時まで

(受付午後二時三十分から)

対 象 理数科に関心のある中学三年生

と保護者および関係の教員

内 容 校舎・施設見学、説明会、
体験授業(数学・物理・化学・生物)

申込締切 十月六日(金)※当日受付も可

申込方法

〒五四〇一〇〇〇八
大阪市中央区大手前二丁目十一

府立大手前高校理数科体験入学係まで

①中学校名②氏名③体験授業の

希望科目を第一から第二希望まで(数

学を必ず含むこと)④保護者同伴

の有無、を明記の上、ハガキまたはフ

ックスまたはE-mail

TEL 06(6941)0051

FAX 06(6941)3163

E-mail rsn@otemae.osaka-c.ed.jp

HP <http://www.osaka-c.ed.jp/otemae/>

第十一回金蘭会講演会開かれる

これまで金蘭会講演会として開かれていた文化講演会は、平成十七度から文化行事となり、演劇・音楽・講演を三年周期で行うこととなりました。金蘭会の助成を受けての行事である点は変わりありませんが、三年間在学中に毎年違った文化行事が経験できるようにになりました。

こうした変化の初年度である平成十七年度は十月七日(金)に、大阪府立青少年会館文化ホールにおいて、劇団潮流による「大江山」現代版御伽草子 妖鬼伝説 酒呑童子と茨木童子」を鑑賞しました。

酒呑童子伝説を元に吉永仁郎氏により高校生世代向けに書き下ろされた作品が「現代版 御伽草子 妖鬼伝説」です。太郎・次郎の兄弟は越後での貧しい生活に見切りを付け、その母を伴って都にやってきました。しかし、

都も路上には飢えた人の群れができるような惨状。太郎・次郎兄弟は死んだ母の肉を食べ、鬼と化してしまい、参詣帰りの姉妹すみれ・かえでを誘拐して、四人で暮らし始めます。それぞれ酒呑童子・

演劇【大江山】現代版

御伽草子 妖鬼伝説 酒呑童子と茨木童子

茨木童子と名乗った兄弟は自分たちの境遇を振り返り、社会に対する不満をつのらせ苦悩します。かえでは兄弟を嫌いますが、すみれは弟茨木童子の苦悩を知り理解しひかれていきます。そんな中、源頼光一派が兄弟の鬼を退治するべく、住まいに乗り込みます。その場面で立ち回りがクライマックスとなり、兄弟それぞれがそれぞれの苦悩を抱えたまま最期を遂げてしまいます。

演劇を直に見るのが初めての生徒もおり、照明・音響が舞台で果たす役割の重要さを実感するとともに、その見事さゆえ舞台の世界に引き込まれていったようです。酒呑童子・茨木童子の苦悩に思いを致したり、幸せとは何かといったことを改めて考え直したりしました。

*酒呑童子伝説……平安時代、華やかな宮廷生活がくりひろげられる一方、伝染病の流行、盗賊の横行などによって死体であふれていました。いつからか、こうした都の惨状は「酒呑童子」という鬼がもたらす災厄のせいであるとの噂がたち始めました。帝は、武勇の誉れ高い源頼光に命じてその鬼を退治させました。頼光はその功績により英雄とたたえられるようになりました。

たたらす災厄のせいであるとの噂がたち始めました。帝は、武勇の誉れ高い源頼光に命じてその鬼を退治させました。頼光はその功績により英雄とたたえられるようになりました。

会務報告書

平成十七年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成十七年四月十六日(土)

於 金蘭会ホール

(出席六十三名・委任状八十四名 成立)

①事業報告 決算報告 承認

②事業計画 収支予算 承認

(2) 理事会

第一回 平成十七年 五月二十一日(土)

第二回 平成十七年 七月 二日(土)

第三回 平成十七年 九月 三日(土)

第四回 平成十七年十二月 十日(土)

第五回 平成十八年 一月二十八日(土)

第六回 平成十八年 三月 四日(土)

第七回 平成十八年 四月 十五日(土)

(3) 「大手前だより」発行

平成十七年七月

(4) 新入会員歓迎会

平成十七年九月四日(日)

於 金蘭会ホール

(新入会員百四十八名・先生九名 出席)

(5) 新年互礼会

平成十八年一月二十八日(土)

於 金蘭会ホール

(来賓三名・会員六十三名 出席)

(6) ホームページ運営

二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 母校創立百二十周年記念事業

(4) (学校・PTA・金蘭会 共催) 準備

(5) 第十回国際グリーム賞の最終選考と贈呈

(6) アンコールオレンジツァー準備

(7) パソコンスクール運営

(8) 金蘭会セミナー

第八十七回 平成十七年 四月 十五日(金)

第八十八回 平成十七年 五月 二十日(金)

第八十九回 平成十七年 六月 十七日(金)

第九十回 平成十七年 七月 十五日(金)

第九十一回 平成十七年 九月 十六日(金)

第九十二回 平成十七年 十月 二十一日(金)

第九十三回 平成十七年十一月 十八日(金)

第九十四回 平成十八年 一月 二十日(金)

第九十五回 平成十八年 二月 十七日(金)

第九十六回 平成十八年 三月 二十四日(金)

平成十八年度 事業計画

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成十八年四月二十二日(土)

於 金蘭会ホール

(2) 「大手前だより」発行

平成十八年七月

(3) 新入会員歓迎会

平成十八年九月三日(日)

於 金蘭会ホール

(4) 新年互礼会

平成十九年一月二十日(土)

於 金蘭会ホール

(5) ホームページ運営

二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 母校創立百二十周年記念事業

(4) (学校・PTA・金蘭会 共催)

(5) 母校創立百二十周年記念名簿の刊行

(6) 第十一回国際グリーム賞予備選考

(7) アンコールオレンジツァー実施

(8) 金蘭会セミナー

パソコンスクール運営

三、理事会開催予定日

第一回 平成十八年 五月 二十日(土)

第二回 平成十八年 七月 一日(土)

第三回 平成十八年 九月 九日(土)

第四回 平成十八年十二月 九日(土)

第五回 平成十九年 一月 二十日(土)

第六回 平成十九年 三月 十日(土)

第七回 平成十九年 四月 十四日(土)

四、金蘭会セミナー開催予定日

第九十七回 平成十八年 四月 二十一日(金)

第九十八回 平成十八年 五月 十九日(金)

第九十九回 平成十八年 六月 十六日(金)

第一百回 平成十八年 七月 二十一日(金)

第一百一回 平成十八年 九月 十五日(金)

第一百二回 平成十八年 十月 二十日(金)

第一百三回 平成十八年十一月 十七日(金)

第一百四回 平成十九年 一月 十九日(金)

第一百五回 平成十九年 二月 十六日(金)

第一百六回 平成十九年 三月 二十三日(金)

金蘭会活動を支えるのは

皆様の年会費です

昨年も年会費¥2,000(卒業後5年間は免除)を納めていただいた3,131名の皆様、協力本当に有難うございました。

また、四年前より新たに賛助金(1口¥2,000)の呼びかけをさせていただきましたところ、さらなる負担にもかかわらず、昨年も1,080口もの厚意を頂戴いたしました。本当に有難うございました。

お陰様で「ホームページ」も四年目を迎えることができ、内容も豊富になってきております。また、母校の国際交流を支援することができ、第三回目は昨夏実施され、別記事の通り有意義な経験をして全員無事に帰国しました。

さらに、今年は母校が創立百二十周年を迎えます。それに伴い記念式典や記念事業が計画されており、その費用については、新たな募金はせず、金蘭会百十周年基金より支出する予定です(予算書の通り)。

決算書や予算書でお分かりのように、金蘭会の活動を円滑に維持して行くには、幅広い皆様のご協力とご支持なしには成り立ちません。今年度の年会費は平成十三年までに卒業された方より多くお願いいたします。

(平成十四年・平成十八年卒業の方は免除) 年会費(¥2,000)及び賛助金(1口¥2,000)となつても「大手前だより」に同封の振込用紙をご利用下さい。

一人でも多くの皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に振込をしてくださる方にお願ひがございます。今年の4月より郵便振込の窓口扱いの手数料が100円になりました。機械式(ATM)の場合は従来通りの60円となりますので、ご面倒をおかけしますが、ATMのご利用をお願いいたします。

(会計理事 S40卒 田原 由夫)

振込はATMを

ご利用ください

賛助金ご協力のお礼とお願い

平成十四年度から会員の皆様方へ、ご無理を申し上げている賛助金につきましては、平成十七年度も引き続き多数の方々のご協力をいただき、710名、216万円のご支援を賜りました。毎年変わらない会員の方々のご厚志に改めて感謝申し上げます。

お陰様で、近年同窓会の事業運営を、引き続き円滑に取り進めることが出来、財政基盤も安定して参りました。

今後とも会員の皆様方のお役に立つことは云うまでもなく、母校の発展に少しでも寄与できる事業運営を継続的に行っていきたいと存じますので、皆様方のご厚志を引き続き頂戴いたしたく、重ねてお願いする次第です。

事情ご賢察の上、よろしくご協力をお願い申し上げます。

(会長 升谷 博)

平成18年度収支予算

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

一般会計

(1) 収入の部

単位(円)

科目	予算	17年度決算	備考
入会金	1,600,000	1,585,000	@5000×320名
賛助金	2,000,000	2,160,489	
会費	6,000,000	6,263,000	
名簿売上	-	11,000	
会館利用料・他	200,000	275,477	
(財)金蘭会よりの補助金	250,000	113,000	
寄附	-	0	
(小計)	(10,050,000)	(10,407,966)	
前期繰越剰余金	13,287,132	11,719,649	
合計	23,337,132	22,127,615	

(2) 支出の部

単位(円)

科目	予算	17年度決算	備考
[運営費]	[3,515,900]	[2,954,967]	
事務局費	2,795,900	2,476,362	明細の通り
会議費	140,000	74,121	理事会、評議員会
慶弔費	580,000	404,484	卒業式の祝菓子他
[一般事業費]	[3,870,000]	[3,244,266]	
大手前だより発行費	3,000,000	2,456,192	
新入会員歓迎会	400,000	396,678	
I T関連費	470,000	391,396	
[特別事業費]	[2,010,000]	[2,595,439]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	250,000	900,000	
金蘭会セミナー補助金	220,000	189,449	講師謝礼他
国際グريم賞	500,000	500,000	財金蘭会と合計して100万円
文庫資料補修	30,000	0	
会員名簿整備	10,000	5,990	
[予備費]	[300,000]	[45,811]	
(小計)	(9,695,900)	(8,840,483)	
次期繰越金	13,641,232	13,287,132	
合計	23,337,132	22,127,615	

(3) 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	17年度決算	備考
運営助手手当	700,000	697,000	
交通費	5,000	1,930	
事務用品費	350,000	290,982	コピー代、封筒代
通信費	250,000	198,993	
印刷費	220,000	158,432	払込票他
電話料	150,000	110,088	ファックス料を含む
会館運営費	440,000	473,842	清掃、空調メンテナンス
払込料	350,000	219,640	会費・賛助金等
リース料	270,900	270,900	コピー機リース料
雑費	60,000	54,555	火災保険料他
合計	2,795,900	2,476,362	

2 母校創立120周年記念関連事業

単位(円)

科目	金額
110周年基金より	4,500,000
記念品贈呈	3,000,000
祝賀会補助	500,000
会員名簿刊行費補助	1,000,000

付1 改築費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480

付2 110周年基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	5,567,910
母校創立120周年記念関連事業へ	4,500,000
次期繰越金	1,067,910

付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000

平成17年度決算報告書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

1 一般会計

1-(1) 収入の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
入会金	1,600,000	1,585,000	@5000×317名
賛助金	2,000,000	2,160,489	
会費	6,000,000	6,263,000	
名簿売上	70,000	11,000	@5500×2冊
会館利用料・他	200,000	275,477	
(財)金蘭会よりの補助金	113,000	113,000	
寄附	-	0	
(小計)	(9,983,000)	(10,407,966)	
前期繰越剰余金	11,719,649	11,719,649	
合計	21,702,649	22,127,615	

1-(2) 支出の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
[運営費]	[2,985,900]	[2,954,967]	
事務局費	2,465,900	2,476,362	明細の通り
会議費	140,000	74,121	理事会、評議員会
慶弔費	380,000	404,484	卒業式の祝菓子他
[一般事業費]	[4,980,000]	[3,244,266]	
大手前だより発行費	3,700,000	2,456,192	
新入会員歓迎会	400,000	396,678	
I T関連費	880,000	391,396	
[特別事業費]	[2,660,000]	[2,595,439]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	900,000	900,000	
金蘭会セミナー補助金	220,000	189,449	講師謝礼他
国際グريم賞	500,000	500,000	財金蘭会と合計して100万円
文庫資料補修	30,000	0	
会員名簿整備	10,000	5,990	
[予備費]	[300,000]	[45,811]	
(小計)	(10,925,900)	(8,840,483)	
次期繰越金	10,776,749	13,287,132	
合計	21,702,649	22,127,615	

1-(3) 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	決算	備考
運営助手手当	700,000	697,000	PC入力手当を含む
交通費	5,000	1,930	
事務用品費	300,000	290,982	コピー代、封筒代等
通信費	200,000	198,993	
印刷費	130,000	158,432	払込票、宛名印字他
電話料	130,000	110,088	ファックス料を含む
会館運営費	440,000	473,842	清掃、空調メンテナンス
払込料	230,000	219,640	会費・賛助金等
リース料	270,900	270,900	コピー機のリース料
雑費	60,000	54,555	火災保険料他
合計	2,465,900	2,476,362	

付1 改築費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480

参考1 セミナー収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
年会費	244,000	通信費	267,150
寄附	5,000	講演料	100,000
当日会費	997,900	食費	1,016,049
一般会計②	189,449	8/16雑費	50,762
		雑費	1,997
合計	1,435,949	合計	1,435,949

付2 オレンジ準備金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	212,187
前年12/27-18/3/31	212,187

参考2 新年互礼会収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
会費	315,000	会食費	284,625
寄附	40,000	参加費・商品	73,182
一般会計②	11,184	雑費	8,377
合計	366,184	合計	366,184

付3 110周年基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	7,367,910
12/27-18/3/31	800,000
12/27-18/3/31	1,000,000
合計	5,367,910

参考3 新入会員歓迎会収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
寄附	130,000	会食費	375,070
一般会計②	396,678	参加費・商品	143,205
		雑費	8,400
合計	526,678	合計	526,678

付4 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000
平成17年度基金	6,263,000
12/27-18/3/31	-180,000
12/27-18/3/31	-176,000
平成17年度会費	6,263,000
次期繰越金	604,000

参考4-1 平成17年度会費

科目	金額
前期繰越金	690,000
上記の内、本年度分	-176,000
合計	514,000

参考4-2 預り会費

科目	金額
前期繰越金	600,000
未払金	147,000
剰余金	13,287,132
(当期末繰越剰余金)	
合計	57,346,671

2 財産目録 (平成18年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
現金	62,510	金蘭会館改築基金	34,787,149
普通預金	2,981,748	同上改築費残高	1,621,480
(三井住友B/K/天満橋)	1,332,157	次年度以降会費預り分	634,000
郵便貯金	18,002,510	オレンジ(基金)返還の戻金①	702,000
(中之島郵便局)		110周年基金	5,567,910
金蘭会館設備	23,971,530	金蘭会奨学金基金	600,000
同上什器備品	10,815,619	未払金	147,000
電話加入権	54,543	剰余金	13,287,132
オレンジ立替金	126,054	(当期末繰越剰余金)	
合計	57,346,671	合計	57,346,671

平成18年3月31日

金蘭会 会計理事 田原 由夫
会計理事 中田 芳男

監査報告

このたび平成17年4月1日から平成18年3月31日までの決算について監査を行いましたところ、適正にして正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成18年4月15日

金蘭会 監事 勝部 慶次
監事 藤岡美紗子

アンコールオレンジツアー 盛況裡に終了

- ・豪華客船「ふじ丸」チャータークルーズに221名が参加
- ・2006年5月12日～16日、対馬、平戸、壱岐にクルージング
- ・昭和7年卒業の方から、昭和50年卒業の方まで、まさに半世紀に亘る世代間の交流に花!

5年前に行なったオレンジツアーの後、会員の皆さんからのアンコールの声に推され、再度実行することになったオレンジツアーでした。

5月12日午後1時、前日までの雨模様の天気も嘘のように晴れ上がり、新装なった神戸港・中突堤から神戸市消防音楽隊の歓送演奏に送られて華やかに出航しました。金蘭会会員の皆さんも多数見送りに来てくださいました。ここに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



クルーズの足跡

- 5月12日(金) 昼食もそこそこに、華やかに神戸港を出航。これからの航海に胸がときめく
- 5月13日(土) 対馬・三浦湾に入港。危ぶまれた天気もすっかり晴れ上がり、いくつかのコースに分れて、対馬の自然や歴史探訪を満喫。国境の島を実感
- 5月14日(日) 平戸・川内湾に入港。今日も天気は快晴。歴史とロマンの島・平戸の散策など
- 5月15日(月) 壱岐・郷ノ浦港岸壁に着岸。今朝も5時過ぎに海上からのご来迎。最後の一日、一支国の歴史探訪など
- 5月16日(火) 瀬戸内海を航海。ビンゴゲームに始まり、校歌斉唱で締めとなったグランド・フィナーレは、忘れがたいクルーズの思い出



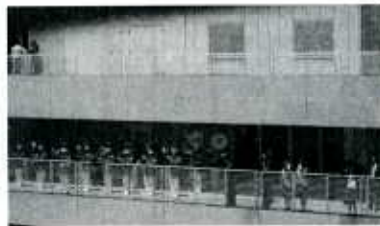
最高齢者は、前回も参加された内藤卓さんと藤本綾子さん(S7卒91歳)。また藤本さんがご主人(94歳)と一緒に乗船されたのには驚くとともに感動しました。特に藤本さんの92歳の誕生日には圧巻でした。

また、前回同様、南はシンガポール、北は北海道から参加、男女比率は1:4とこれも前回同様女性パワーに圧倒されました。さすがに大手前高女の面目躍如といったところ。

久下真理(S50卒)さんの連日のすばらしい演奏。母の日に因んだ特別演奏会の夜は、ほぼ全員の参加で「かあさんが夜なべをして 手袋編んでくれた …」と合唱したことは忘れられない思い出となりました。

また、天候についても、当初の予想に反して連日快晴続き。大変恵まれた形ですすべての行事を終えることができました。参加者の平素の行いがいいからだ、とみんなで自画自賛。

アンコールオレンジツアーは、先の体験が生き、前回にも増して会員相互の交流を深めることができたのではと感じました。そして、何よりも良かったことは、前回同様全員が何の怪我も病気もせず、無事帰港してくださったことです。本当にありがとうございました。(実行委員長 S29卒 上川庄二郎)



洋上セミナー・コンサート

- 12日
講演 源氏物語 講師 松野由子(S23)
ピアノコンサート 久下真理(S50)
- 13日
講演 対馬・壱岐を巡る史的交流
講師 岸田善三郎先生
- 16日
俳句会 講師 岸野成子(S13)

- 寺院から 仰ぐ十字架 夏雲
木野 納 (S29)
- 青葉風 壱岐っ子ガイドの "ええらしか"
岡本幸枝 (S29)
- 満月や 船よりのでる 母の日に
相宗照子 (S25)
- 殉教の 島ねむらせる 青葉潮
土田桂子 (ゲスト)
- 一面が 古代の遺跡 麦の秋
木野 納 (S29)
- 風ひかる 海にただれる 桐田かを
井手胡蝶(敏)(S30)
- 俳句

ールご案内

運営委員会

金蘭会セミナー 第10期報告

さまで100回を迎えることができました

講 演	講 師	参加者
ウィーンこぼれ話	久下 真 理 氏 (S50卒) (ソロピアニスト、西宮芸術文化協会会員、オーストリア国家試験合格演奏家)	118
司法はどう変わるか… 裁判員制度を中心にして「裁判員制度であなたも裁判員に」	明 賀 英 樹 氏 (S45卒) (日弁連裁判官制度改革推進本部事務局長)	91
われわれはなぜ嫌われているか? 日中関係を考える	江 田 憲 治 氏 (S49卒) (京都大学大学院人間・環境学研究科 教授)	101
常識はずれの医学	松 田 育 三 氏 (S30卒) (医療法人 松田メディカル理事長)	102
わが国南極観測の50年	渡 邊 興 亞 氏 (S33卒) (国立極地研究所名誉教授)	102
常識はずれの医学 パートⅡ	松 田 育 三 氏 (S30卒) (医療法人 松田メディカル理事長)	109
空堀の私設寄所 ～にぎわい堂の試み～	寺 西 章 江 氏 (S57卒) (財団法人大阪国際経済振興センター国際部企画課 課長主任/企業誘致プランナーにぎわい堂代表)	71
灘の酒造りと四方山話	西 村 顕 氏 (S52卒) (白鶴酒造株式会社 生産本部長 兼 研究開発室長 工学博士)	78
現在特許事情 ―企業の頭脳戦略―	小 南 典 子 氏 (S52卒) (大阪府立香里丘高等学校事務 大阪大学先端科学イノベーションセンター客員研究員)	76
わが国南極観測の50年 パートⅡ	渡 邊 興 亞 氏 (S33卒) (国立極地研究所名誉教授)	未

金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者
金蘭会会員
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時
火、木、土曜日
午前11時～午後4時
午後5時～午後8時
3. 申込について
①事務局に申込む。
TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時～午後4時	午後5時～午後8時
会議室 (30名～50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名～30名)	3,000円	5,000円
5. その他
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。

が拡がっています

第11期
金蘭会セミナーの
お誘い



- とき 毎月第3金曜日
PM 6:00～7:00 卓話 PM 7:00～8:00 交流会
- ところ 金蘭会ホール
〈通信費〉年間1,000円 (年10回 往復はがき代)
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円 (軽食費込み)
- 申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。参加費1,000円は当日いただきます。(同伴・ピジターは1,500円)

予告
9月のテーマ

「建築の語りかけるもの」

講師 島崎 義治 氏 (S50卒)
建築家、人間環境大学教授 (住環境デザイン科)

100回
会

21日(金)

の50年

Ⅱ

氏

名誉教授

新
覚教室

フィー

ール

金蘭会組織

会長	升谷 博
副会長	米田 玲子
	上川 庄二郎
会計	田原 由夫
	平松 美樹
書記	大鍛治 和美
	福味 真樹江
総務	留井 恵子
	安積 香代子
	紀本 岳志
	田中 文
監事	渥美 寿雄
	勝部 慶次
	藤岡 美紗子

【委員会（理事）】

	委員長	委員
組	田中 宏幸	高女 尾上喜美子・苗代 壽子 西岡 好子
		高校 丹羽 權平・藤原 啓助 浜田 暎子・高橋 仁志 辻本 賢
広報	大鍛治和美	木村 定・今堀美那子 田中 文・渥美 寿雄 野口 幸一・横幕 久治
IT	藤原 啓助	留井 恵子・安積香代子 大鍛治和美・小南 典子 渥美 寿雄・野口 幸一
会員名簿	石川 温子	山本 倫子・尾上喜美子 鴨下 勝子・田原 由夫 大鍛治和美・田中 宏幸 野口 幸一・横幕 久治
金蘭会文庫	渥美 寿雄	木村 定・藤原 啓助 石川 温子・小南 典子 野口 幸一
運営	留井 恵子	徳光 清子・田丸真貴子 苗代 壽子・西岡 好子 米田 玲子・浜田 暎子 吉田 春陽・大鍛治和美 紀本 岳志・小南 典子 野口 幸一
行事	安積香代子	丹羽 權平・田原 由夫 明賀 英樹・三木 啓二 平松 美樹・田中 文
国際シム賞	多田 嘉孝	福味真樹江
母校支援	上川庄二郎	大鍛治和美・野口 幸一 谷 恵美子

金蘭会ホー

金蘭会パソコンスクール

対象者

- 全くの初心者 → マウスの扱い、キーボードの打ち方から始めて、メールのやり取りや、インターネットの閲覧ができるようになります。
- こんなことをしたい方 → 名刺・年賀状・写真やカット入りレター作成、デジカメ写真の取り込み、編集、マイカレンダーの作成など
- あなたが習いたいテーマで、同窓のお助けパースが、お手伝いします。

いつ 月曜、金曜の午後1時～5時

どこで 金蘭会館ホール

費用は 2時間あたり、500円

自学大歓迎

金蘭会のパソコンは6台あり、パソコンは持参でも、借用でもOK。自分のノートパソコンを持参しての参加者も、沢山おられます。ティータイムは和気あいの情報交換の場で、サロン風雰囲気。お問い合わせ・お申し込みは
町田/TEL&FAX 072-857-0319
留井/TEL 06-6383-0315 FAX 06-6383-8020
金蘭会ホームページ: <http://kinran.jp/school/index.html>

金蘭会 おかげさ

第何回	月日	会場
91	平成17年9月16日	ウ
92	10月21日	可
93	11月18日	木
94	平成18年1月20日	常
95	2月17日	木
96	3月24日	常
97	4月21日	空
98	5月19日	満
99	6月16日	現
100	7月21日	木

学年を越えたお友達 新しい出会いが

中川 朝子 S16本卒	第九期皆勤賞	小田 純子 S31卒
吉田 千代子 S16本卒		中道 昇 S32卒
濱 恵美子 S19本卒		福岡 繁 S32卒
大西 千枝子 S22本5卒		石川 温子 S33卒
斉藤 益枝 S25卒		杉山 和雄 S33卒
岸田 政子 S28卒		留井 恵子 S39卒
金田 昭子 S29卒		辻岡 由起 S45卒
浅岡 道雄 S30卒		
水野 智江子 S30卒		・印 九年間皆勤

運営委員

野口 南 S54	小南 S52	紀本 S47	大鍛治 S46	吉田 S42	浜田 S29	米田 S21	西岡 S20	苗代 S20	田丸 S20	徳光 S14	留井 S39
----------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

第100回 金蘭会 セミナー

とき 2006年7月21日

記念講演
わが国南極観測
パートII

講師
渡邊 興
(S33卒)
国立極地研究所名

場所
母校 視聴覚

記念パーティ
金蘭会ホー

各委員会より

▼IT委員会

IT委員会は、情報の発信と会員相互のコミュニケーションを図って、一般事業として金蘭会のホームページの運営、特別事業としてパソコンスクールの運営をしています。平成十七年度は四回の委員会を開催し、事業活動について活発な意見交換を行いました。

ホームページ部

この二年間のトップページへのアクセス総数は、三万件余りで、二日平均百件に近いアクセスがあります。今月のPHOTOの投稿者が毎月一人ずつ増えていること、リンクする学年会等のホームページが増加していること、住所変更などの金蘭会への情報提供が容易になったことなどから、その機能を十分發揮しているものと考えています。

パソコンスクール部

スクール開催回数は、六十六回、百三十二時間、延べ受講生は千人を数えました。また、主なイベントとして、「自作名刺交換デジカメ撮影会」、「暑中見舞い交換会」、「年賀状交換会」等を多数の参加を得て実施しました。平成十八年度も、前年度と同様、月・金曜の開催可能日にスクールの開く予定です。色々と新しいテーマを考案し、実行してスクールの活性化に努められた部長の奥山峰生(S34卒)さんが、今年の三月二十三日、急逝されました。誠に残念です。ご冥福をお祈りいたします。

IT委員会は、ボランティアで集まった会員で運営しています。部活動に協力していただける方がおられましたら、是非ご連絡下さい。

お待ちしております。

(IT委員会委員長S28卒 藤原 啓助)

▼行事委員会

新入会員歓迎会

平成十七年卒の新入会員三百十七名を歓迎し、九月四日(日)金蘭会ホールに於いて、新会員百四十八名が出席して歓迎パーティーが開催されました。

たくさんのお料理と美味しいケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会でお友達との会話も弾んでいました。今後の同窓会活動への理解と参加に繋がってほしいと思います。



なお、当日のスナップ写真が金蘭会館のパソコンに入っていますので見に来てください。プリントできます。

(月火木金の午後一時から四時までに電話で確認してからこ来館ください。)
(行事委員会委員長S40卒 安積 香代子)

四年目を迎えた

国際交流事業

金蘭会の支援を受け、英国ウエールズのペンングライス校との交流が始まってから四年目を迎えた。昨年は第三回目として七月四日(月)から十八日(月)、母校から一年生三名、二年生三名の計六名の生徒がペンングライス校を訪問した。平成十五年に実施された第一回目の際は、六名とも女子であったが、今回は、各学年とも男子一名が参加した。

ヒースロー空港に到着すると、前回と同様にペンングライス校から片道六時間かけてミニバスで出迎えに来てくださっていた。翌日から一〇日間にわたって、ホストファミリーやペンングライス校の皆さんたちの暖かいもてなしを受け、また、

お互いに交流を深めることができた。

授業、スポーツ、集会、パーティー、観光等、様々なプログラムを用意して下さり、

どれにおいても貴重な経験ができた。一方、二〇〇人のペンングライス生を前にして、日本の歌を紹介したり、剣道形を披露したり、ソーラン節を踊って見せたりし、大きな拍手をもらった。

また、今回の訪問に当たっては、予め一人ひとりが「ウエールズと日本の学校や生活の違い」「ウエールズの食文化」などといった研究テーマを決め、体験を通して知り得たことをレポートにまとめた。そして、帰国後、その成果を全校集会や文化祭等の機会に発表し、大手前高全体体の財産として共有するように努めた。

今年度は七月五日(水)から十四日(金)の日程で、ペンングライス校から六名の先生と付き添い教員一名を受け入れる。ペンングライス校生は、授業参加、華道・書道・茶道、観光、和菓子作り等の体験を通して大手前生との交流を深めることになっている。また、帰国前日の十三日(木)には、金蘭会主催の送別会を金蘭会ホールにて開催し、ペンングライス校生と金蘭会員が直接交流する機会を持つ予定。



平成十八年卒の皆様へ
今年度の新入会員歓迎会も母校文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成十八年九月三日(日)

十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム

メールでの申し込み締め切り

八月二十八日(月)

あて先 金蘭会事務局

電子メールアドレス: kimran-j@leco.eonet.jp

詳細は、往復はがきにてご案内します。

奮ってご参加ください。

学年会だより

白鳥会

(昭和十四年卒)

平成十八年度六十七回白鳥会を、五月十一日花外楼で開きました。心配していた天気も朝より晴れだして五月晴れとなりました。日ごろの精進の賜物かとみんな喜びました。昨年より参加者も多く、二十九名集まるこゝとが出来ました。名簿も作り、現況報告を致しました。東京より米阪のお嬢様と一緒に参加された植木さん、武田さんは、介護の役を引き受けて横浜より神戸の土田さんを迎えて無事大阪まで来られました。体調優れぬと申されていた方も皆が元気を分かち合つて楽しく歓談いたしました。中之島公園をパツ



クに新緑を眺めながらおいしく料理を味わつて、来年もこの会に参加しようねとみんなで励まし合いました。大手前の卒業生らしくプライドを持って楽しく人生を全うしたいと念じつつ校歌を斉唱して、会を開きしました。

園田 節
森脇 雅枝

いざよい会

(昭和十六年卒)

平成十七年のいざよい会は、十二月十日(金)十二時(天変わかり易い設定です)桜橋の北端苑にて開催、二十五名が集まりました。堀こたつ式の和室にしたのですが、その出入りが困難とのことで、出席を見合わされた方が複数あつて、申し訳ない気が致しました。

関東方面からのご出席はお二人で、いつもより淋しかったです。半世紀ぶり(或いはそれ以上?)にお目にかかれた方々もあつて、楽しい話の集いとなりました。

近況報告を伺い、おいしいお料理に舌鼓を打ちつつ和やかな時を過ごし、最後に二回昔に還つて校歌を斉唱して胸を熱くいたしました。八十二才の齢を重ねました私たちは、いつまでこの会が続けられるかと、いささか心配い思いをいたしました。幸い次年度もお世話して下さる方が決まり、又の再会を楽しみに三々五々家路につきました。

多年にわたつて金蘭会評議員として、又いざよい会の旅行や有志による旅のためにお骨折り下さつた満田久枝さんが昨年末に急逝されました。驚きと悲しみの中におります所へ藤田博子さんのご訃報が入り、哀惜の念、切なるものがございます。昨年度にご世界の新谷佐枝子さん、松本静子さんに併せてご冥福をお祈り申し上げます。会員皆様様の健康を心から祈念いたし、と存じます。

亀尾富久子
吉岡満佐子
伊藤 俊子

あおぎり会

(昭和十九年卒)

連休明けの閑けさを取り戻した五月八日、私共昭和十九年卒の「あおぎり会」は、前夜の大雨に洗われて輝くばかりの新緑に囲まれた古都奈良ホテルに参集。五十四名で一年振りの学年会を開きました。卒業後六十年をすぎても、矢張り旧姓やニックネームが通じ易く、私自身も含めて杖を頼りにしてのお友達も年々が増えたようですが、お互いにお互いには大手前時代に戻り、愉しいおしゃべりと笑い声の中、あつと言ふ間に終了時間を迎えてしまいました。

最後に全員で校歌を合唱、再会を約しつつ、風格あるホテルを見返りつつの散会でした。

五月九日 各地 美智子

桐花会

(昭和二十年五卒)

今期は学年代表評議員として、市橋多起子、堀谷子が三年間お役を引き受けることになりました。傘寿という大台を目前に、できるだけ励んでいきたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

今年には毎年恒例の旅行会としまして、五月二十五日、二十七日まで福島方面東山温泉、磐梯高原、会津若松への旅行を企画して下さいました。秋には十月二日にホテルグランヴィア大阪に於いて、旅行には参加できなくても、久しぶりに楽しい顔合わせができるようにと、「お食事会」の二日を計画して下さり、楽しみにしております。毎年色々と趣向をこらして

高齢者向きの企画をして下さるお当番の方々のご活躍ぶりには、深く感謝しております。十一月には創立百二十周年記念の集いがございますが、できるだけ多くの会員が元氣印で出席して、共に母校の長寿をお祝いすることができるようにと願っております。

卒業五十五年目の同窓会に百人が集つ

(昭和二十六年卒)

我々高校三期生は二年毎二二組共同幹事というきまりで同窓会を開いております。四月二十三日(日)は天気予報では、長期も短期も避けたい雨だったのですが、当日になつて晴に変わる誠にラッキーで二日が始まりました。

ホテルグランヴィア大阪という地の利を得た場所と、お花見とゴルフアンウィークの合間という事などもあつて、近年稀な参加人数があつたと思っております。当日迄の幹事の皆さんの活躍には、高齢になつた身でよく頑張られた事に感謝しております。その結果、東京など遠方より参加の十人を含め、約二〇〇人の同期生が集まりました。

当日は二時間前から受付を開始し、快くご参加戴いた恩師の坪井明先生、瀬戸川ユキ子先生をお迎えして始まりました。司会山本君のテンポよい進行で、挨拶、事務報告、乾杯と型通り会は進み、食事談話後メインの各組代表のステージ演目で会場も盛り上がり、特に三組の高宮さんの「南京玉すだれ」や五組中原君他、有志で合唱した「北野校歌・大手前校歌」には大いに湧き立ちました。あつと言ふ間の二時間半で、終わりに次回代表幹事の川上君が力強く引き継ぎを約束してくれました。

二次会の席には約六十人が残り、森君の司会で、カラオケ主体の二時間を和気藹々の内とぎれることなく遂行して、全体で四時間半の会合に名残つきなまま、元気な姿での再会を誓ってお開きと致しました。

六組 井上・大国・河崎・細川・村上・山本
七組 大澤・上久保・鈴木・藪部・増田・森

一七七会学年会だより

(昭和二十七年卒)

寒暖の差が激しく不順な気候が続いた今年の春、三月二十五日(土)、所も昨年と同じ、交通の便のよい、ホテルグランヴィア大阪で学年会を開催した。

首都圏、岡山からの四名の遠来の出席を含め、男性二十八名、女性二十一名、来賓に恩師の岸田・杉野両先生の出席を頂いて、総勢五十名の内十五名が出席していただいたのはうれしかった。加えて同級生の二組のカップルがお揃いで出席いただき、花を添えていただいた。本人や家族の健康上の理由から欠席せざるを得ない方が増えているのは、誠に残念であった。簡単な開会のセレモニーの後はずいぶん気を張らずにくつろいだ雰囲気、話の輪があちこちにひろまった。本当に学年とは何だろう。五十年以上簡単にタイムスリップしてしまうのが不思議でたまらない。

恒例となった勝部夫人のシャンソンの熱唱に耳を傾けるうちに、予定の時間となり、最後に校歌を斉唱して散会した。

来年は卒業五十五年のメモリアルな年、多数のご参加を得て盛大に開催したい。

升谷 博

六期会からのお知らせ

(昭和二十九年卒)

早いもので、卒業五十年会を持ちましてから二年の月日が経ちました。その後、二部の方の計報はありましたが、それぞれにお元気で古稀を迎えられたこと存じます。

さて、その五十年会の際に、これから学年会は二年毎に開催することにしよう、とみんなでも決めました。今年はその年に当たります。

評議員で下相談しました結果、今度は東京勢の方々に担当していただくとういうことになり、アンコールオレンジツアー(五月十二日・十六日)に参加された関東在住の方々に船上でご相談させていただきました。

快くお引き受け下さいましたので、夏ごろには全員に連絡が入るかと思えます。開催日は大手前百二十周年が十一月初めに開かれることもあり、十月二十四日(金)・二十五日(土)に予定しております。

今から予定に入れておいていただき、ぜひ多くの方がご参加くださることを期待しております。

六期生学年評議員一同

同窓会一題

(昭和三十四年卒)

◎昨年七月三日・四日は開催中の「愛知万博」見学を主にした異色の会で、二組と五組が担当しました。美術館、新空港、陶芸の里等、自由散策を楽しんだ後、名古屋城を目の前にしたKKRホテルにて懇親会に入り、クイズや

テーブル対抗ゲームに時の経つのも忘れ、当日帰宅組を慌てさせました。翌日は、あいにくの雨となりましたが、会場内の人気館に次々入場出来、大満足の方も多かった様です。時間の配分とコース順の読みは、さすが一でした。携帯が大いに貢献したのも事実です。参加者は三十四名でしたが「句を楽しみ、句に語る友がある」という充実感共有出来たと思っています。

一組・五組 幹事

◎新緑薫る五月二十七日(土)「みのお山荘」で平成十八年度学年会が開催されました。七十四名の参加者が昼前から続々バスで到着、大阪平野が一望出来る会場で語らいの輪が広がり、司会者の声もかすれる程でした。同好会の紹介やゲームに興じた後、二次会の席へ。着物姿の同窓生のお点前でお抹茶を服した後、隣室でフリースタイルの賑やかな会話が弾み、五時過ぎまで続きました。解散時は美しい虹まで見る事が出来、感動的な二日でした。

二組・八組 幹事

ワイン祭のご案内

(昭和四十年卒)

皆様お変わりございませんでしょうか。

二〇〇六年三月十日新宿に於いて四十年卒在関東の同窓会兼還暦前祝を開催致しました。

当日は関東在住者六十数名の内二十五名の参加。

既に退職し悠々自適の人から農場経営、大学教授、企業の管理者、教職、舞踏家、音楽評論家、主婦まで様々な職業の方々が集まれ感慨深いものがありました。それぞれの人生を語り合い、自らと比較してもうひと踏ん張りを決意する人、

定年後の自由な余生に夢を馳せる人など様々でした。

さて昨年(日本全国から同窓生三千五百名参加)に引き続き今年も四十年卒のワイン祭りが開催

されます。甲州産の柑橘系白ワインを味わいませるか。場所は赤松君が働くワイナリー&農場にて。関東だけでなく関西他からもご出席歓迎です。

来年大阪で挙行される還暦記念総会に先立ちます皆様是非ご参加下さい。

記

- 1、日時 二〇〇六年九月二十三日(土)十時から
- 2、場所 山梨県北杜市明野町(八ヶ岳山麓、八ヶ岳や南アルプスを望む自然一杯の所)
- 3、ワインは無料飲み放題！(ワインテージ物、ワインは体にいいです)
- 4、ゴルフ、周辺のワイナリー見学、ログハウス宿泊などの利用は格安
- (夫婦ペアでの参加も多く、前日からの泊り込みがほとんどです)
- 5、連絡先

安積 TEL 〇六六九四二一五六七七

(関西ほか)

市川 TEL 〇三三三三三三三二九(関東)

以上

市川 隆



学年会のお知らせ

昭和四十一年卒

同期の皆様お元気ですか。母校を卒業して早四十年がたちました。そこで、今年には左記の通り四十年会を開催いたします。

後日、ご案内をお送りしますが、是非ご予定に入れていただき、皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加下さいませ、お待ちしております。

記

日時 十月二十一日(土)

午後三時半より(三時から受付)

場所 ホテルグランヴィア大阪

(前回と同じ所です)

幹事一同

学年同窓会

昭和五十年卒

昭和五十年卒業生は、卒業三十周年記念祝賀会を、昨年九月二十三日、大阪市北区のウエスティンホテル大阪で開催。同窓生百三十五人、恩師十三人がタイムスリップして思い出のひとときに浸った。

五年前に二十五周年会を卒業後初めて開いたが、また集まろう、すぐ集まろう、いつでも集まろうと盛り上がり、輪五十を前にしての会となった次第。

卒業生四百余人の内、海外在住者を含め、住所のわかっている約三百五十八人に案内を出した。不明者は同窓生が伝手を頼りにたよって次々と捜し、便利なインターネットのおかげで珍名さんもヒットして、

懐かしい顔がそろった。

頭のとっぺん枯れススキ。脂肪たっぷり売るほどに。御身は変わり、ボケも前にも増して混じれども、同じ学び舎で青春のページをつづった面々。はじめは「君」「さん」と呼び合うも、杯を重ねるごとに呼び捨て、愛称、オイ、お前の気のおけない昔に戻った。

写真を撮り合つて、はしゃぎあつて、二次会へ流れてもまだキヤキヤ。はた目には「何、このおっさん、おばはん」。同窓会というのは、大手前の仲間というのは、ほんとに愉快だ。この調子では三十五周年もやることになるのかなあ。

学年幹事 小林 一則

学年会のお知らせ

昭和五十二年卒

卒業二十九周年を記念して、去年に引き続き学年会を開催します。みなさんの参加をお待ちしております。

日時：平成十八年十一月十八日(土)

場所：金蘭会館

五十二年卒学年会のHP

(<http://docknkt.com/52nenka.htm>)を

ご覧の上お申し込みください。詳しくは、各クラス幹事にお問い合わせください。

クラス幹事：一組小南・二組吉安・三組東口・五組中塚・六組参川・七組北後・八組前信・九組北澤・吉田・十組須賀・河本



京都支部

当支部では毎年一回、晩秋に総会を開催しています。昨年は、十一月二十日(日)、西本願寺「開法会館」で、総数七十四名の参加を得て開催しました。講師に元龍谷大学学長で名誉教授の千葉乗隆先生をお迎えし、「本願寺の歴史」と題して講演していただきました。懇親会の後、国宝の「書院」と「飛雲閣」を見学しました。この時期少々寒かったのは残念でした。今年も晩秋の頃に、京都の仏閣での開催を予定していますが、詳細は決定次第、ご案内いたします。

当支部では、京都府及び滋賀県在住で案内状を必要とされる方を主とし、その他特に必要とされる方々に、案内状を送付しております。支部として年会費はいただいておりますので、遠慮なくお申し下さいます。多数の参加をお待ちしております。

〒六四一四一八三三六二

八幡市男山美桜二一六

TEL・FAX ○七五(九八二)一五四四

支部長 S28卒 藤原 啓助

阪神支部

(総会の報告)

四月二十三日(日)宝塚ホテルに於いて十八年度阪神支部総会を開催致しました。来賓には斎藤良昭校長、升谷会長をお迎えして総勢七十五名が集まりました。

今回の催しは、須磨寺に伝わる一弦の琴「須磨琴」の演奏でした。須磨琴は兵庫県重要無形文化財、演奏は小池美代子様(須磨寺の前管長夫人で兵庫県無形文化財保持者)と最高師範の方お二人にお願いしました。

以前テレビドラマで見た土佐一弦琴が素朴で繊細な音色だったのに比べ、須磨琴の音色には深みがあり、「艶」という感じがしました。曲目は「平家抄」と「青葉の笛」でしたが、歌詞が平家物語冒頭の明文「祇園精舎の鐘の声」で始まるのも懐かしく、一同みやびの世界に引き込まれていきました。

このあと会食、続いて金蘭会本部からのお知らせ、上川副会長のオレンジツァーの説明があり、最後に校歌を熱唱しました(S29卒足立勝先生のご指導で発声練習から始まります)。

出席して頂いた方々に厚く御礼を申し上げます。

(支部の現状とお願ひ)

阪神支部は年会費「なし」。どなたでも参加して頂ける支部です。支部の生い立ちと歴史から高女卒業生を大切に考えています。一方高校卒業の方々にも多数参加して頂きたく、幹事一同知恵を絞っています。

幹事として企画に参加して下さる方を募集しています。よろしくお願い致します。

連絡先

TEL・〇七九八・六七・六四五六

S 21・4 卒 米田 玲子

TEL・〇七九八・五一・〇一八三

S 32 卒 真辺 和子

阪急支部

阪急支部この一年

●第五十七回阪急支部総会 来賓他四十六名

平成十七年九月十日

於ホテルアイボリー

総会と会食後、女優絵沢萌子さんによるおしゃべりと宮本輝作「夜桜」の朗読を楽しみました。

●お楽しみバス旅行 三十四名参加

平成十七年十月二十六日

淡路島南西端のホテル「あなが」にて、海を眺めながら、美味なフレンチの昼食をいただき、その後鳴門大橋を渡り、徳島の大塚美術館で陶板による世界美術の名画の数々を鑑賞いたしました。

●新年会 五十名参加 平成十八年二月四日

会食後、神谷徹氏のユーモラスなトークと、クラシックから童謡までの幅広い演奏に、思わず口ずさんだり、笑いの渦にひきまわたりして、心から楽しいと思ったストロークコンサートでした。その後古代文字当てクイズを全員で楽しみました。

●秋季ゴルフ大会 十二名(三組)参加

平成十七年九月二十三日

於読売パブリックコース

優勝者 佐々木 豊三郎氏

※本支部へのご連絡は

丹羽整形外科

〇六一八八五四―七六五三 まで

S 29 卒 森永 千恵子

近鉄支部

近鉄支部は近鉄沿線在住の金蘭会々員

を中心に運営されているため、広域にわたっており、そのため、これまで毎年秋に大阪と奈良で隔年毎に交互に総会を開催し、その際、出来るだけ身近な話題を選んで、どなたかに講演をお願いしていますが、今後は奈良での開催を中心とした方がよいのではないかと意見も出ており、検討を予定しています。

●昨年十月十六日に大阪の「美美術」

(金蘭会同窓生経営)で総会に続いて懇親会を開催し、創作会席料理を賞味しました。

●今年奈良で開催の予定ですが、最近、

出席者が減少して来ており、特に若い世代の参加者が少なく、今後の活性化のためにも課題となっています。そこで、これまで広域にわたり対象者が多いため、一部の卒業年次の方に順次案内を出していましたが、今回は多くの沿線在住の卒業生の方々に案内を差し上げて、参加を呼びかける予定にしています。是非、多数の方がご参加下さるよう期待しております。現在、本支部は入会金五百円、年会費五百円で毎年総会案内を差し上げて

いますが、一回限りの臨時の参加も歓迎しています。その際には支部宛に連絡を下されば案内を差し上げますので、御一報下さい。

また、御希望や良い企画、並びに御意見がありましたら、御提案下さるようお願いいたします。

●本支部への連絡は左記にお願いいたします。

〒六三三―〇〇二四

奈良市百楽園二丁目五番十二号

TEL・FAX 〇七四二(四五)五九七三

支部長 S 30 卒 高橋 仁志

東京支部

●東京支部は、三月末で会員数が、二千

六百九十五名となりました。

●昨年の総会は、七月十日に緑豊かな明治記念館で、二百二十名が参加して行われました。昭和五十六年卒のジャズシンガー、小川理子さんのピアノと歌を楽しみ、当番幹事の合田泰子さん提供のおいしいワインでホロ酔い気分になり、大いに盛り上がりました。

●そして今年第八十二回。上野公園の精養軒で七月九日に開催されます。当番幹事は昭和五十年卒の皆さん。「ピアノセッション」ちよつとひといき、ポロロピアノ、懐かしい友と語らうひととき」と題し、五十年卒のピアニスト、久下真理さんをお迎えして、またまた楽しい会になりそうです。

●また、一昨年、昨年に続いて今年も支部会報を発行することができましたし、地域の繋がりを持つべく、新しい地区会も誕生しました。

●以上、東京支部のこの一年の様子です。

S 47 卒 坂井 淑子

南海支部

●南海支部では、年一回大阪南部の各地

で懇親会を開催しております。今年も五月二十八日(日)に大阪ミナミの中心街である難波の地にある「ホテル南海なんば」を会場としました。難波では「なんばパークス」をはじめとする様々な都市開発が現在進行中です。懇親会では、講師として眼科医の岡本直之氏(S 50 卒)に「長寿社会と眼疾患」赤・白・黄色・緑の眼」と題して眼疾患について興味深いお話をさせていただきました。今年度初の試みとして行いました親子参加の割引制度を活用していただいたこともあり、今後も何らかの割引制度を行っていく予定です。恒例の面白クイズではグループ対抗戦を行い、豪華な賞品を獲得されたグループはホクホク顔でした。

●また、毎年開催しています刑事事件の法廷傍聴会が、大阪地方裁判所において六月十六日(金)に行われました。年一回発行の南海支部ニュースも第七号を四月に発行することができました。

●南海支部では、金蘭会々員の方なら、大阪南部にお住まいの方に限らずどなたでも参加していただけます。事務局まで一報いただければ、ご案内を差し上げていきますので、遠慮なく参加してみてください。

●南海支部事務局(田中法律事務所内)

TEL 〇六一六六三〇一三〇〇五

FAX 〇六一六六三〇一三〇一五

支部長 S 49 卒 田中 宏幸

☆校庭で迎えた終戦

四月の金蘭会での評議員会で、同席した方に「何年卒？」と聞かれ「25年卒です。」と言うと「ワー、凄いですね」成る程そう言われて振り返れば、日本の歴史を変えた第二次世界大戦の終結を告げられる天皇陛下の玉音放送を、爆撃で傾いた金蘭会の前校庭で、モンベ（裾を絞ったパンツ）にへちま襟に白の襟を重ねた紺の制服姿の在校生が、灼熱の太陽の下直立不動で暑さを感じず、頭を垂れて足元の乾いた土を見つめながら聞いた。これから日本の建国来の伝統・風習・生活環境の激動の時が始まるのを知る由もなく、時を忘れ只立ち尽くしていた。

会員からのお便り

特のお声:

「朕深く世界の現勢と帝国の現状とに鑑み、非常の措置を以て時局を收拾せんと欲し茲に忠良なる重臣に告ぐ。朕は帝国政府をして米英支蘇四国に対しその共同宣言（ポツダム宣言）を受託する通告せしめたり。朕は時運の赴く所耐え難きを耐え忍び難きを忍び、以て万世のため太平を開かんと欲す。世界の進運に後れざらむ事を期すべし、重臣民其れ克

く朕が意を載せよ。」

抜粋した内容である。この日本の歴史の一ページが開かれるのを校内で経験した大手前生は恐らく、昭和二十年八月十四日に勤労奉仕を免れた25・26・27年卒の在校生だけであつたらう。百二十年を迎えようとしている歴史ある大手前の数え切れない卒業生の中で、我々はこの歴史の一ページ目を校内で迎えられる。教育制度改革は大手前高等女学校にも押し寄せ、633制の教育制度に移り変わり北野高校と交流、男女共学の幕が開かれたのである。この二期生として、高等女学校三年生は、新制高校一年生に進学した。

という事は終戦を在校中に経験した我々の一部は、旧制と新制にまたがっての大手前教育と大手前精神を六年間シツカリと身につけてきて頂いた教員が少ない握りの卒業生かもしれない。思い出は万とあるけれども兎も角紙面上にするには長すぎる。

そこでこの我々25年卒、七、八年前に千里阪急ホテルでの同窓会の席上、当時、追手門大学教授の宇田正氏と私が窓口となって回想録を一冊の本に纏めようと呼びかけた。同期全員をという思いから同窓会毎に声をかけているが、もうソロソロ締め切つて校正・編集を始め、足りない所は二人で埋めようとした友人も出始めた。そのため集まった原稿を、早く同窓生、そして母校

にも、長い歴史の中の一ページとして残せたらという思い入れを持って今年の同窓会で締め切り、実行に移そうと決意の念を新たにしている。どうかこれを読む25年卒の未執筆の方達、ホンの一行でも長文でも何でもいい。我々だけしか経験出来なかつた戦中戦後のアレコレを、愛する母校を絡めた冊子に完成させる為のご協力を、心からお願いしたい。

S25卒 株式会社三装代表取締役

デザイナー 石原 光子

☆桐職会（サッカー部OB会）

第四回総会（OB戦・親睦会）のお知らせ

昨年十一月十三日（日）のOB戦では、一昨年と同様、ゲーム以外にも、OBとそのファミリー、現役選手とマネージャーの総勢一〇〇名が二十チームに分かれて「PK合戦」を行い、参加者全員が賞品を手にし、世代を超えて大いに盛り上がりました。総会後の親睦会には、庭野・村田両先生が参加してくださり、懐かしい話に花が咲きました。

今年度の第四回総会・OB戦・親睦会は、十一月十二日（日）に開催する予定です。九月頃に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されますことを願っております。

また、今年はワールドカップ・イヤーですので、それを記念すべく、どこかの芝生のグラウンドでゲームをしようかと計画中です。もし、実現しましたら、皆さん、

是非ご参加ください。

なお、今年度（平成十七年十一月から平成十八年十月）の会費（三千円）をまだ納入されていない方は、是非とも納入して下さいますようお願いいたします。できますれば、賛助金（二口千円、何口でも可）も併せてお願いします。（振込口座は、郵便貯金口座番号00920・2・245834、桐職会）となっております。

桐職会HP <http://www.otemae-tousyukai.com>

※ご自身ならびにご同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。

千五六一〇八七四

吹田市古江台五―三―三三―三〇八

TEL&FAX 〇六一六八三二―一九八七
メールアドレス noguti31@renai.gr.jp

母校英語科 野口 幸一（S54卒）

後・集・編

今年度は、大手前高校が創立百二十周年を迎え、秋には記念行事が行われます。そのご案内の他、付随しての名簿発行の特別案内、新役員名簿及び組織図・突然の交代による新旧校長先生のご挨拶・アンコールレタリング等と、記事が盛りだくさんで、紙面構成に大変苦労しました。準備を進めている二員としましては、記念式典・祝賀会が成功することを、心より願っております。記事をお読みくださった皆様は、奮つてご出席くださいますようお願い致します。せめて今年だけ（？）は、読まずにゴミ箱にポイ捨てという行為は、大いに慎んでもらいたいです。

（大）